

ストップ温暖化、 実現するのは、地域の力。

全国のユニークな事例が大集合
いろんなエコが集まりました。



ストップ温暖化「一村一品」大作戦とは

地域の創意工夫を活かした温暖化防止の取り組みを、地球温暖化防止活動推進センター等が中心となって47都道府県で募集し、広く全国に情報発信することを通じて、温暖化防止の取り組みを地域から推進していくプロジェクトです。

初年度の今年は全国で1,074件もの応募があり、47都道府県代表が一堂に会した全国大会を開催し、最優秀賞をはじめとした各賞を選出しました。



opening

presentation

1日目

プレゼンテーションの順番待ちで緊張感たどよう会場

どれも優れた取り組みで審査は難航

たった4分に思いを凝縮

パネル展
大会期間中、会場では各都道府県代表の取り組み内容を紹介するパネル展示を実施しました。会場に用意された応援メッセージカードには、励ましやお互いの取り組みを評価するメッセージが多く寄せられました。



ウェブ投票
多くの人に一品を知ってもらうことを目的に実施しました。12月27日から1月31日までの投票総数は4,773票！



全国大会で展示したパネル

2008年2月9日(土)、10日(日)、東京・丸ビルホールにて、ストップ温暖化「一村一品」大作戦全国大会2008が開催されました。会場には大勢のプレスが集まり、立ち見が出るほどの賑わいの中、1日目は47都道府県代表の4分間プレゼンテーション、2日目には表彰式が行われました。

古美術鑑定家の中島誠之助さんなど有識者5名の審査委員会では、プレゼンテーションや事前審査書類を元に、一般からのウェブ投票の結果も参考にしながら審査を行いました。最優秀賞に輝いたのは、京都府立北桑田高等学校森林リサーチ科による「地元の木を使って『ウッドマイレージ』を減らそう!」の取り組みです。地元木材の積極的な利用を目指す、熱意とオリジナリティが審査委員の心を射止めた結果となりました。



日本にはいろんな取り組みがあるなあ

presentation

congratulations!

2日目



鴨下一郎 環境大臣

● 審査委員長
中島 誠之助氏
古美術鑑定家・エッセイスト

● 審査委員
竹本 徳子氏
株式会社カログハウス取締役・
エコひいき事業部長

● 審査委員
藤田 和芳氏
大地を守る会 会長

● 審査委員
マエキタ ミヤコ氏
クリエイティブエージェンシー
サステナ 代表

● 審査委員
松橋 隆治氏
東京大学大学院教授
新領域創成科学研究科 工学博士



優勝トロフィー
今回、上位入賞者に贈られたトロフィーは、群馬県のエコアーティスト 斎藤公太郎さんによるもの。強風を受けて倒れた立ち木「風倒木」で作られたこの作品は、木の独特の風合いが一つひとつ違う味わいを出し、まさに「一村一品」にふさわしいエコトロフィーです。

